

小中一貫教育だより

【令和7年度 第4号】

加東市教育委員会

小中一貫教育推進室

E-mail shochu-ikkan@city.kato.lg.jp

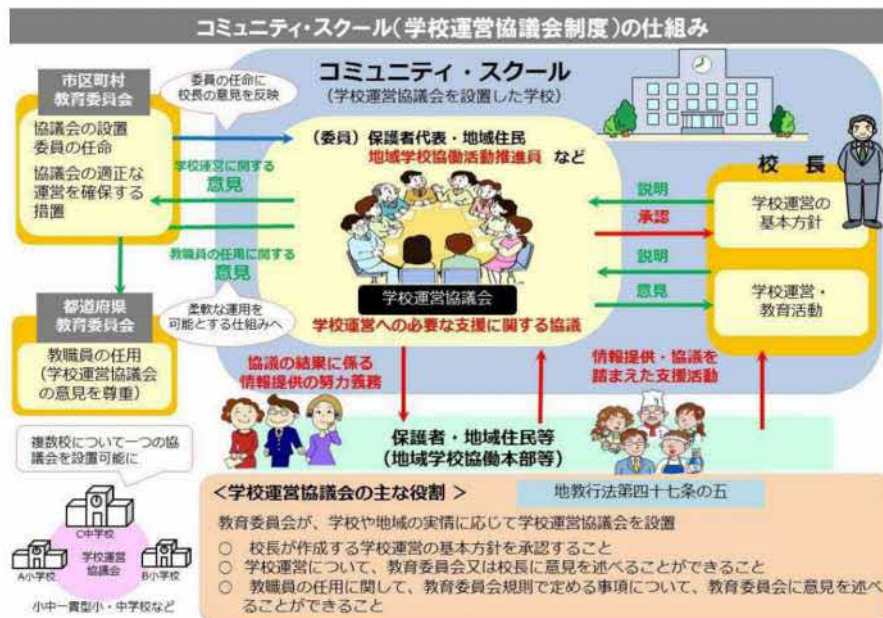
令和7年5月19日発行

「学校運営協議会」「コミュニティ・スクール」とは？

「学校運営協議会」とは、学校と地域が一体となった学校づくりを進めるために設置する、学校運営及び運営への必要な支援に関して協議する機関です。右の資料のように「校長が作成する学校運営の基本方針を承認すること」「学校運営について教育委員会又は校長に意見を述べるができること」「教職員の任用に関して意見することができること」など、この制度を導入することにより、子どもが抱える課題を

地域ぐるみで解決する制度を構築し、質の高い学校教育の実現を図ることができます。

その「学校運営協議会」を設置した学校を「コミュニティ・スクール」と呼びます。学校と保護者や地域が共に知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え、「地域とともにある学校づくり」を進めるための有効な仕組みです。学校運営に地域の声を積極的に活かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていきたいと考えています。



滝野東小学校・南小学校 5年生 交流会

5月14日(水)、滝野学園開校に向けての滝野東小学校、滝野南小学校の交流会が5年生からスタートしました。両小学校の5年生は、南あわじ青少年交流の家に6月3日から4泊5日の自然学校に合同で行きます。今回は、それに向けての事前交流会を滝野東小学校体育館で実施しました。

まず、「自立」「挑戦」「協力」「友情」の4つの『めあて』を決め、両小学校のメンバーで活動班を構成し、取組を開始しました。活動班の中で、班長、副班長、食事、入浴、保健、美化などの係や、「めあて」「合言葉」などの話し合いが行われました。両小学校の5年生が全員で出会うのは、今回が初めてでしたが、それを感じさせない温かく活発な交流ができていました。

最後に、滝野南小学校 校長先生からは、「時間を守る」「言葉を大切に使う」「全力を大事にする」という3つのことを中心に自然学校に向けての講話がありました。6月3日が待ち遠しいですね。



【各活動班で活発な話し合いが行われた】



【滝野南小の児童を滝野東小の児童が見送る】